

決算報告

決算概要

平成26年度の一般会計の決算額は、歳入が202億5682万円、歳出が196億4684万円で、翌年度へ繰り越すべき財源3371万円を差し引いた実質収支は5億7626万円の黒字となりました。

平成26年度決算の特徴として、安心で安全な学校教育を実現するために実施してきた、小中学校の耐震補強や屋内運動場の改築、保育園の統合整備などの建設事業が平成25年度に完了したことにより、歳入歳出ともに前年度比8.9%減の決算額となりました。

歳入では、国庫支出金が学校施設の耐震や改築に伴う交付金などの減により2億5956万円の減額となりました。また、地方債は財源不足を補うための臨時財政対策債の発行が2億1200万円の増額となりましたが、地方債全体では、地方債の発行額を抑制し、11億4050万円の減額となりました。

歳出では、普通建設事業費の減により投資的経費全体で18億9045万円の減額、公債費が計画的な繰上償還と地方債の発行抑制の効果により2億946万円の減額となりました。一方で、物件費が庁内情報化や指定管理に伴う委託料の増により2億1726万円の増額、扶助費が臨時福祉給付金などの増により1億3381万円の増額となりました。

【経営管理部・企画財政課】

平成26年度一般会計の主な事業

現年補助災害復旧事業

事業費 1億3,287万円



平成26年8月の豪雨で被災し、使えなくなった道路や橋を安全な状態に復旧しました。=馬瀬名丸、梅ヶ枝線

社会資本整備総合交付金事業(繰越分)

事業費 2億775万円



市道の改良工事を行い交通網の安全の確保、利便性の向上を図りました。(平成25年度からの繰越分です。)=金山町菅田桐洞、横谷前山線

防災・安全交付金事業

事業費 1億1,103万円



老朽化した橋の点検と舗装や塗装、耐震補強工事を行い交通網の安全を確保しました。=湯之島、下呂大橋

旧下呂館解体事業

事業費 1億2,046万円



取得した用地を活用し、事業を推進するため旧下呂館建屋の取り壊し工事をしました。=森、旧下呂館跡地

観光戦略強化事業

事業費 1億190万円



民間団体と協力し調査研究と事業を実施。観光客の増加に努めました。

社会資本整備総合交付金事業

事業費 1億373万円



下呂温泉病院へ向かう、市道の融雪装置設置工事などを行い、交通網の安全確保、利便性の向上を図りました。
=森、森8号線

コミュニティバス事業

事業費 9,868万円



萩原・下呂・金山地域における交通の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行しました。利用者数は、3地域で年間延べ162,723人でした。

市立老人ホーム施設整備事業

事業費 9,480万円



あさぎりサニーランドの厨房棟を新築するなど、設備を改善し、高齢者の福祉施設の機能を強化しました。
=萩原町羽根、あさぎりサニーランド

有害鳥獣捕獲事業

事業費 4,464万円



サル、シカ、カワウなど有害鳥獣の捕獲を積極的に進め、農林水産業への被害軽減に努めました。

予防接種事業

事業費 7,202万円



インフルエンザ、高齢者肺炎球菌などの予防接種を実施し、疾患の発生とまん延の予防に努めました。